

令和6年度 予算の概要

☎ 財務課 (☎62-1006)

●歳入

一般会計の歳入は、歳入の根幹をなす市税が368億3619万5千円で、前年度当初予算と比較して、0.4%の増を見込んでいます。

●歳出

構成比で最も大きな割合を占めているのは、子育て支援、高齢者福祉、障害者福祉を中心とした民生費で、42.7%の294億3770万7千円です。次いで、土木費で、16.0%の109億9526万7千円、次に、教育費が、13.9%の95億7589万8千円となっています。なお、歳出に占める投資的経費*の割合は、15.1%です。

当初予算	一般会計	689億円
	特別会計	250億5409万4千円
	企業会計	107億652万5千円
	合計	1046億6061万9千円

*道路、公園、学校など社会資本の整備に関する経費で普通建設事業費、災害復旧事業費など

主要施策

(1) 都市基盤～安心して暮らし続けられる快適なまちづくり～

事業名	事業の内容	予算額 (千円)
市道01-4号線他道路新設改良事業 (今川町)	円滑な交通と歩行者の安全を確保するため、今川町交差点の形状を適正化するとともに、国道1号線に接続する市道01-4号線の右折2車線化を行う。	173,303
市道01-40号線他道路新設改良事業 (逢妻町ほか)	慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制するため、バイパス機能を持った幹線道路を整備する。	1,005,400
市道02-5号線他道路新設改良事業 (一里山町)	県道宮上知立線により分断された地区の安全性および利便性を確保するため、県道の周辺道路を整備する。	153,600
市道02-14号線他道路新設改良事業 (泉田町)	市民の利便性を向上させるため、一般廃棄物処理場へのアクセス道路および泉田地区の幹線道路としての道路を整備する。	130,000
都市計画道路3・5・561高須線道路新設改良事業(住吉町ほか)	歩行者の安全確保を図るため、道路を拡幅し、バリアフリーに対応した歩道を整備するため、橋りょうおよび電線類地中化詳細設計を行う。	153,710
ウイングデッキ整備事業	刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」に向けて、安全で快適な歩行空間を形成するため、刈谷駅南北連絡通路を延伸するデッキを整備する。	177,894
都市拠点活用推進事業	刈谷駅周辺の活気や魅力を高め、市の玄関口としてふさわしい駅前空間の創出を目指し、刈谷駅周辺のイルミネーション、公共空間の活用検討などを行う。	25,900
公共交通再編事業	公共交通のさらなる利便性向上を図るため、公共施設連絡バス「かりまる」の路線再編や運営手法の検討およびデマンド交通「チョイソコかりや」の実証実験を行う。	42,526
公共交通利用促進事業	市民のおでかけ支援および公共施設連絡バス「かりまる」の利用促進を図るため、イベントや啓発を行う。	2,317
JR刈谷駅総合改善事業	JR刈谷駅の安全性確保および利便性向上を図るため、ホーム拡張、ホームドア設置、コンコース拡張および改札増設などの改良工事を行う。	861,591
優良建築物等整備事業	魅力的な都市空間の創出を目指し、低未利用地の活用やまちなか居住の誘導などを行うため、桜町および広小路にて商業施設や住宅などの複合施設を整備する民間事業者に対して支援を行う。	601,400
魅力あふれる公園づくり事業	将来構想を策定した洲原公園、岩ヶ池公園、総合運動公園、亀城公園およびフローラルガーデンよさみの5公園において、誰もが行きたくくなるような公園づくりを効果的かつ効率的に推進し、憩いとにぎわいの場を創出する。	28,332
三豊公園整備事業	子どもの遊び場、地域住民の健康増進および憩い・交流の場を創出するため、野田町に公園を整備する。	110,302
準用河川草野川改修事業	浸水被害の軽減を図るとともに、魚類、昆虫類など自然との触れ合いを可能とする環境を整備するため、河川の改修を行う。	71,000

(2) 教育文化～生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり～

事業名	事業の内容	予算額 (千円)
歴史博物館企画展開催事業	歴史や文化に触れる機会を提供するため、刈谷やその周辺の地域の歴史を紹介するほか、さまざまな歴史資料を展示する企画展を開催する。	35,306
美術館企画展開催事業	質の高い美術品や展示物に触れる機会を提供するため、著名な美術家やイラストレーターの展覧会などを開催する。	51,708
住吉小学校擁壁改修事業	児童の安全を確保するため、校庭南側および東側の擁壁、のり面の改修工事を行う。	168,800
小中学校体育館トイレ等改修事業	教育環境の向上および避難所機能の強化を図るため、避難所となっている7小学校(亀城、衣浦、双葉、富士松東、富士松北、日高、かりがね) および3中学校(刈谷東、富士松、雁が音)の体育館などのトイレの洋式化および床の乾式化などの改修を行う。	317,000
雁が音中学校大規模改修事業	施設の保全および良好な教育環境の維持を図るため、校舎の機能を回復させるとともに、教育環境の変化に適合させるための大規模な改修(南舎の内装および建具などの改修工事)を行う。	89,000
地域学校協働活動推進事業	地域と学校双方の活性化および子どもの学びや体験活動の充実を図るため、すでに実施している8小学校および3中学校に加え、新たに7小学校(亀城、小高原、富士松南、富士松東、小垣江、小垣江東、朝日) および3中学校(刈谷南、富士松、依佐美)に地域学校協働活動推進員を配置する。	3,019

令和6年度 施政方針

令和6年は、元日に能登半島地震が発生し、多くの方が被災され、尊い命が失われるという悲しみの幕開けとなりました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い被災地の復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

昨年、市長として2期目の任期をスタートさせていただきましたが、1期目で掲げました「日本一安心・安全なまち刈谷」の実現を目指す中で、数多くの施策に取り組むことができましたのも、ひとえに市民の皆さまのご理解とご協力の賜物であると、改めて感謝申し上げます次第であります。

円安や国際情勢の不安定さに起因する急激な物価高騰が、多くの方の生活に影響を及ぼしている状況が続き、昨年は、緊急避難的に、広く子育て世帯を支援する目的で2学期末までの給食の無償提供を実施いたしました。3学期以後は給食の質の維持に努めながら、新たな施策といたしまして、通常の学年と比較して大きな負担となっている修学旅行に係る費用への支援を実施いたしております。今後も、公平性、緊急性などを考慮しながら、適時適切な支援策を講じてまいりたいと考えております。

また、国は昨年、少子化トレンドの反転を目指して、「こども未来戦略」を策定し、今後3年間を集中取組期間として加速度的に施策を推し進めるとしてあります。本市としましても国の施策に足並みを揃えつつ、子育てMaaSなど刈谷市独自の新たな取組に果敢にチャレンジしてまいりたいと考えています。

私たちのまち刈谷は、歴代市民の皆さまの努力により産業都市として大きな発展を遂げてまいりました。さらには、先人たちの郷土愛により培われた美しい自然と文化も持ち合わせており、こうした本市の魅力を再発見することができる周遊型の謎解きイベントを3月から実施いたしております。本市が有する地域資源や魅力を活用し、さらなるにぎわいの創出を図るとともに、刈谷市に「訪れてみたい」「住みたい」「住み続けたい」と改めて思っただききっかけになればと考えています。

今後も、市民の皆さまが“元気”に、“笑顔”で、未来へ“希望”が持てるよう、「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現を目指してまいります。

まちづくりの基本方針

都市基盤
安心して暮らし続けられる
快適なまちづくり

教育文化
生涯にわたって学び地域への
愛着を育むまちづくり

産業環境
人と技術でにぎわいを創り
未来につながるまちづくり

福祉安心
支え合い誰もが安心して
暮らせるまちづくり



刈谷市長 稲垣 武